オーディオ実験室収載

FIDATA HFAS1-S10 の活用(18)
—PC オーディオにおけるストレージ(2)—

１．はじめに

前報(17)に引き続き、HFAS1-S10 を単なる PC のストレージとして扱い、PC オーディオでの再生を行います。

２．HFAS1-S10 の試聴方法

前報(17)と同様、HFAS1-S10 を単なる PC のストレージとして次のような再生経路になります。

HFAS1-S10→WHR-1166DHP3→PC→iPurifier2(Type2) →SWD-DA20

前報(17)では HFAS1-S10 とルーターの WHR-1166DHP3 の接続ケーブルは AIM 電子の LAN ケーブルを、WHR-1166DHP3 と PC の接続ケーブルは Telegaertoner 社の LAN ケーブルを使用しましたが、HFAS1-S10 と WHR-1166DHP3 の接続ケーブルを AIM 電子の LAN ケーブルから LAN リベラメンテに替えてみました。

PC の再生ソフトは TASCAM Hi-Res Editor を使用し、HFAS1-S10 から 11.2MHz DSD 音源を読み込んで再生します。

上記 AIM 電子の LAN ケーブルと Telegaertoner 社の LAN ケーブルは、光モデムと CTU および CTU と無線ルーター間の LAN ケーブルを LAN リベラメンテに替えた際に余ってきたものです。

３．HFAS1-S10 の試聴結果

前報(17)の後、PC に PC 専用インシュレーターPSI-1000 を敷いていますので、iPurifier2(Type2)や iPower の効果に加えて、随分と印象が変ってきています。

HFAS1-S10 の SSD に収納した音源再生において PSI-1000 や iPurifier2(Type2)や iPower の効果に加えて、さらに LAN ケーブルを LAN リベラメンテに替えることにより、これらの効果が相まって、これまでの PC オーディオでは到達できていなかったレベルのクオリティに達しています。AIM 電子の LAN ケーブル LAN リベラメンテに替えたことの効果は、光モデムと CTU および CTU と無線ルーター間の LAN ケーブルを LAN リベラメンテに替えた時の効果に似ており、ざらつき感が取れて、音に透明感が出て音場の見通しが良くなります。

４．まとめ

HFAS1-S10 を単なる PC のストレージとして PC オーディオで使用する場合の LAN

リベラメンテの効果を確認することができました。また、PC 専用インシュレ―ター PSI-1000 の効果も併せて確認することができました。PC 専用インシュレ―ター PSI-1000 の効果については、別途詳細に報告いたします。
現在 HFAS1-S10 は USB-DAC との組み合わせで使用しており、ネットワークプレイヤーは使用しておらず、今後ネットワークプレイヤーの導入時には HFAS1-S10 は LAN に組み込んだストレージとして使用することになり、その際はこの LAN リベラメンテはネットワークプレイヤーとルーターとの接続などに使用する予定です。

以上